

19年ぶりに
盛岡で開催！

いわて

2025 8|30(土) — 9|21(日)

会期中無休

開場時間 ● 午前10時～午後7時 (入場は午後6時30分まで)

入 場 料 ● 大人前売600円(当日800円)、高校生前売300円(当日400円)
中学生以下無料・障がい者手帳をお持ちの方とその介護の方1名様無料

会 場 ● アイーナ・いわて県民情報交流センター [5階 ギャラリーアイーナ]

今日も一つ
悲しいことがあった
今日もまた一つ
うれしいことがあった
笑ったり泣いたり
望んだり あきらめたり
にくんだり 愛したり
そして これらの一つ一つを
呆然と抱きかかえて
救え切れないほど沢山の
平凡なことがあった



詳細はこちら
Instagram:
iwate_tomihiro2025

日野草©Tomihiko Hoshino 1985

主 催／いわて星野富弘花の詩画展を開く会 共 催／岩手日報社
後 援／岩手県、盛岡市、岩手県教育委員会、盛岡市教育委員会、
盛岡市社会福祉協議会、IBC岩手放送、テレビ岩手、
めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、NHK盛岡放送局

特別協力／富弘美術館
協 力／偕成社、Gakken、いのちのことば社、グロリア・アーツ、
富弘美術館を囲む会東京・神奈川支部、軽井沢支部

ごあいさつ

星野富弘さんがご逝去されて1年が経ちました。この度、アイーナ・いわて県民情報交流センターにて「いわて星野富弘花の詩画展」を開催する運びとなりました。盛岡市での開催は19年ぶりとなります。開催にあたりましてたくさんの方々にご協力、ご協賛いただきましたこと、心より感謝申し上げます。

事故により手足の自由を失いながらも口に咥えた絵筆で、父母への愛、生かされている喜びを綴る富弘さんの詩画は、いのちの輝きや大切さを教えてくれます。ひとりでも多くの方に、愛と感謝とユーモアにあふれる富弘さんの作品と出会い、感動と励ましを受けてほしいと願っています。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

いわて星野富弘花の詩画展を開く会
会長 山内 まどか

イベントのお知らせ

8|30[±]

午前9時30分～

オープニングセレモニー

場所：展示会場にて

8|30[±]

オープニングセレモニー後

富弘美術館 聖生館長&学芸員
によるギャラリートーク

場所：展示会場にて

先着100名様に
プレゼント進呈！



ミュージアムショップのご案内



絵はがき、書籍、
カレンダー、グッズ…etc.



ぜひお立ち寄りください。

星野 富弘プロフィール

- 1946年 群馬県に生まれる。
- 1970年 体育の教諭になるが、クラブ活動の指導中
頸髄損傷、手足の自由を失う。
- 1972年 □に筆をくわえて詩や絵を書き始める。
- 1981年～ 雑誌や新聞に詩画作品やエッセイの連載を開始。
- 1982年 高崎で「花の詩画展」開催。以後、全国各地で
「花の詩画展」を開催。
- 1991年 群馬県勢多郡東村（現みどり市）に
村立富弘美術館開館。
- 1994年～ ニューヨーク・ハワイ・サンフランシスコ・
ワルシャワなど海外でも「花の詩画展」を開催。
- 2005年 （新）富弘美術館開館。
- 2021年 富弘美術館開館30周年。
富弘美術館の入館者数が700万人を超える。
- 2024年 逝去。
みどり市名誉市民（第一号）の称号を贈られる。

詩画や随筆は教科書にも掲載され、全国で「花の詩画展」を開催している。著書多数。



主な著書

- 「新装版 愛、深き淵より。」
- 「新編 風の旅」「風の詩」
- 「詩画とともに生きる」（Gakken）
- 「鈴の鳴る道」「かぎりなくやさしい花々」「速さのちがう時計」
- 「あなたの手のひら」「花よりも小さく」「種蒔きもせず」（偕成社）
- 「足で歩いた頃のこと」（偕成社）
- 「山の向こうの美術館」（富弘美術館・偕成社）
- 「銀色のあしあと」「たった一度の人生だから」「ことばの雫」
- 「いのちより大切なもの」「あの時から空がかわった」（いのちのことば社）

会場のご案内



アイーナ・いわて県民情報交流センター 5階ギャラリーアイーナ

〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7番1号
東北自動車道盛岡ICから車で8分
JR・IGR盛岡駅から徒歩4分

ウェブサイト ▶ <https://www.aiina.jp/>



チケット
8/29
(金)まで販売
前売情報

- ・プレイガイド —— 岩手日報社事業部
パルクアベニュー・カワトク
いわて生協各店舗
(一部店舗を除く)
- ・オンライン販売 —— PassMarket (パスマーケット)

